

垂水市庁舎 これまでの経緯



▲住民投票開票の様子



▲意見書提出の様子



▲市民意見聴取の様子
意見聴取は、「新庁舎建設を考える会」「新庁舎建設を進める会」双方からの意見を伺いました。

- 令和2年8月9日 ※ 外部検討委員会は「垂水市新庁舎建設検討委員会」を指します
住民投票の結果、計画の白紙化
- 令和2年10月1日
鹿児島県から令和4年度末までに、耐震診断結果を報告するよう命令が出される
- 令和2年11月17日 ※ 外部検討委員会から
「垂水市庁舎整備に対する意見書」の提出
【意見書の内容】
・耐震診断の実施
・市民意見聴取の実施 等
- 令和3年2月5日
外部検討委員会が市民意見聴取を実施
- 令和3年3月12日 ※ 外部検討委員会から
「垂水市庁舎のあり方の検討についての提言書」
【提言書の内容】
・現庁舎への対応
・候補地の調査検討
・新たな外部検討委員会の設置 等
- 令和3年3月19日
耐震診断業務委託費や新たな外部委員会の運営費等、庁舎整備等に関連する令和3年度予算案を垂水市議会にて可決
- 令和3年4月5日
市長と新庁舎建設を考える会との意見交換
- 令和3年4月21日
耐震診断の業務委託契約締結
- 令和3年5月24日
新たな外部委員会である「垂水市庁舎等のあり方検討委員会」が始動

垂水市庁舎 これからの対応

現在実施している耐震診断の結果等に対する、**新たな外部委員会からの意見や市議会での議論などを踏まえて、今後の庁舎等のあり方について、検討を進めてまいります。**
皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

これからの庁舎のあり方を考える

series 2

現庁舎の耐震診断を開始しました。



☎ 企画政策課庁舎建設係 ☎ 内線 247

耐震診断の状況 コンクリートのコア抜きを開始



▲探知機で鉄筋の位置を確認

図面や現地調査、コンクリート強度などを確認し、大規模な地震に対する安全性を評価します。

診断区分によって、耐震補強などの対応が求められます。

- 区分①：大規模な地震に対し、倒壊・崩壊する危険性が高い。
- 区分②：大規模な地震に対し、倒壊・崩壊する危険性がある。
- 区分③：大規模な地震に対し、倒壊・崩壊する危険性が低い。



▲コンクリートのコア抜き

耐震診断の経緯

- 鹿児島県から令和4年度末までに、耐震診断の結果を報告するよう命令が出されました。
- 現庁舎は当面利用する必要があるため、市民および職員の安全性確保が必要と判断しました。
- 市庁舎本館・別館・消防庁舎の耐震診断予算を垂水市議会に提案し、承認をいただきました。



▲切り抜いたコアは、強度試験や薬品を用いて検査します。

垂水市庁舎等のあり方検討委員会が始動 詳細は、次号でお知らせします。

- 市では、新たに多様な考え方を持つ委員を選任するため、委員の公募を広報誌および市HPで行い、公募委員5名を選任しました。
- あり方検討委員会の委員構成は、学識経験者5名、市内公共的団体からの推薦者10名、公募委員5名の合計20名となります。



▲公募委員選考委員会